



人を育て 人を活かす

**日総工産株式会社**

東証第部 コード6569

2021年3月期 **第3四半期**

# 決算説明資料

2021年2月8日

## 2021年3月期第3四半期 実績

- 前年同期比で減収減益（営業利益）
- 経常利益は、増益
- ほぼすべての業種で稼働調整が改善
- 自動車関連の人材ニーズが回復

## 2021年3月期 連結業績予想

- 自動車メーカーを中心に国内外の需要が回復、稼働が増加
- コロナの影響からの回復が鮮明となり、予想を上方修正

・こちらが、サマリーになります。

**1** 2021年3月期第3四半期 決算概要

---

**2** 2021年3月期第3四半期 活動の概況

---

**3** 今後の見通し(2021年3月期)

---

**4** トピックス

---

**5** 株主還元方針

---

**6** 補足資料



# 1 2021年3月期第3四半期 決算概要

# 2021年3月期第3四半期 連結業績ハイライト

(単位：百万円)

## ポイント

- 在籍減少の影響もあり、減収減益となったが、稼働（稼働日数、残業時間、休出日数等）の増加から3Q単体では前年同期比（767百万円）で増益（営業利益）。
- 経常利益は、前年同期比で増益（助成金収入含む）。
- その他の事業は、6号館の入居者数増加により増収。営業損失は改善。

	20年3月期 第3四半期		21年3月期 第3四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	55,718	100.0%	50,442	100.0%	△5,275	△9.5%
売上総利益	9,515	17.1%	8,433	16.7%	△1,082	△11.4%
販管費	7,619	13.7%	6,754	13.4%	△864	△11.4%
営業利益	1,896	3.4%	1,678	3.3%	△217	△11.5%
経常利益	1,940	3.5%	2,005	4.0%	65	3.4%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1,307	2.3%	1,284	2.5%	△23	△1.8%

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

4

・2021年3月期第3四半期の連結業績についてご説明いたします。

- ・売上高につきましては、504億42百万円（前年同期比 52億75百万円、9.5%減）
- ・売上総利益につきましては、84億33百万円（前年同期比 10億82百万円、11.4%減）
- ・販管費につきましては、67億54百万円（前年同期比 8億64百万円、11.4%減）
- ・営業利益につきましては、16億78百万円（前年同期比 2億17百万円、11.5%減）
- ・経常利益につきましては、20億5百万円（前年同期比 65百万円、3.4%増）
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、  
12億84百万円（前年同期比 23百万円、1.8%減）

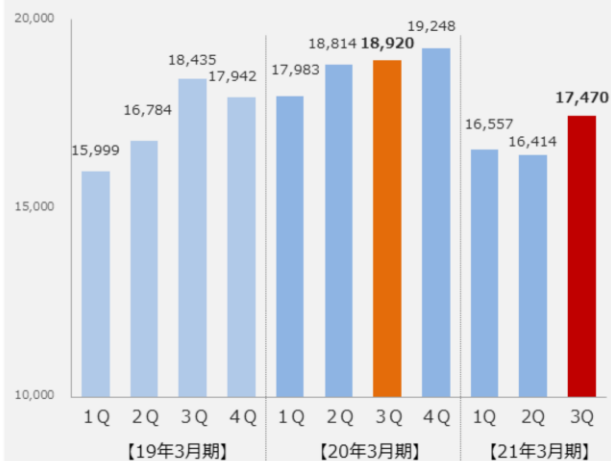
となりました。

- ・第2Qから第3Qにかけて自動車をはじめとした取引先の生産の回復もあり、利益率が第2Qより改善いたしました。
- ・経常利益につきましては、雇用調整助成金収入が3億59百万円あり、利益を押し上げております。その他の事業セグメントである介護事業において、収益が改善してきていることも理由として挙げられます。

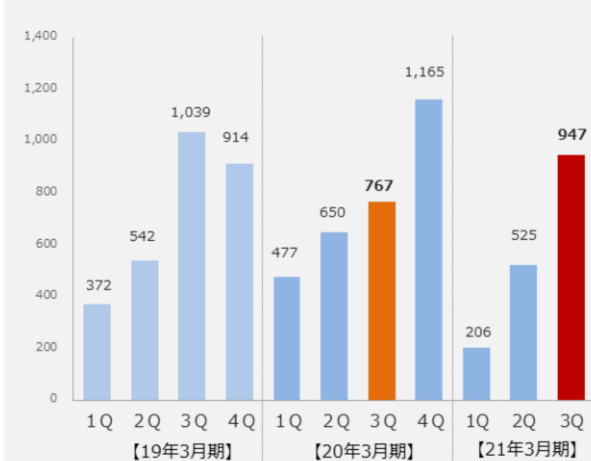
# 2021年3月期 四半期単位の連結業績



## 売上高 (単位：百万円)



## 営業利益 (単位：百万円)



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

・連結の売上高と営業利益の四半期単位の推移グラフになります。

# 2021年3月期第3四半期 単体業績ハイライト

(単位：百万円)

## 売上高について

- 売上高は、在籍減少の影響により、10.2%の減収になったものの、稼働（稼働日数、残業時間、休出日数等）が増加し減少率は縮小。

## 費用・利益面について

- 稼働（稼働日数、残業時間、休出日数等）の増加に伴い、営業利益率が改善。
- 経常利益については、営業外収益での助成金収入計上もあり、前年同期比で増益。

	20年3月期 第3四半期		21年3月期 第3四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	51,433	100.0%	46,191	100.0%	△5,241	△10.2%
売上総利益	9,040	17.6%	8,028	17.4%	△1,011	△11.2%
販管費	7,125	13.9%	6,309	13.7%	△815	△11.4%
営業利益	1,915	3.7%	1,718	3.7%	△196	△10.3%
経常利益	1,917	3.7%	1,962	4.2%	45	2.3%
四半期純利益	1,304	2.5%	1,263	2.7%	△40	△3.1%

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

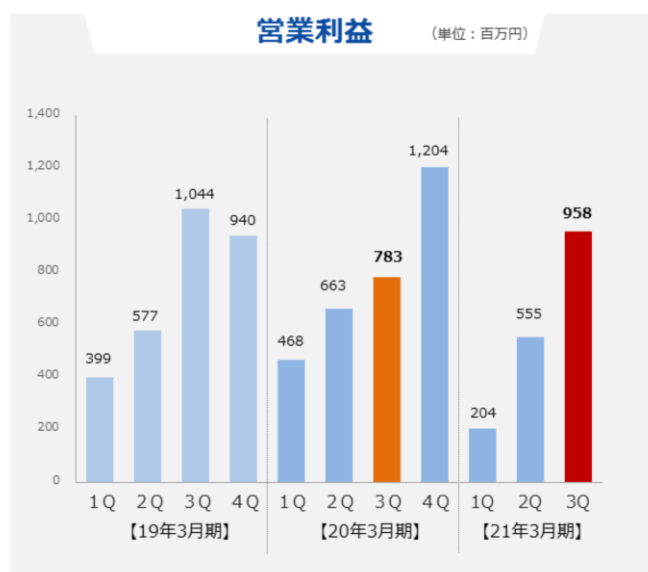
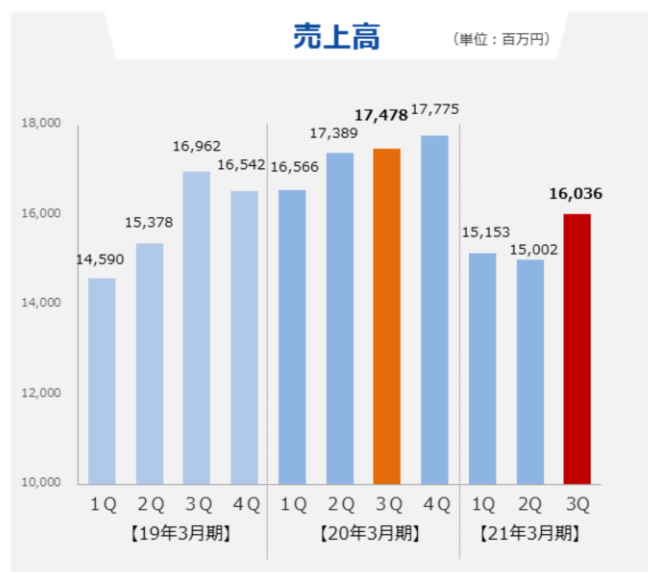
6

・2021年3月期第3四半期の単体業績についてご説明いたします。

- ・売上高につきましては、461億91百万円（前年同期比52億41百万円、10.2%減）
- ・売上総利益につきましては、80億28百万円（前年同期比10億11百万円、11.2%減）
- ・販管費につきましては、63億9百万円（前年同期比8億15百万円、11.4%減）
- ・営業利益につきましては、17億18百万円（前年同期比1億96百万円、10.3%減）
- ・経常利益につきましては、19億62百万円（前年同期比45百万円、2.3%増）
- ・四半期純利益につきましては、12億63百万円（前年同期比40百万円、3.1%減）となりました。

- ・在籍数が期初から約2,000名強減少した影響があるものの、第3Qに入り、取引先の生産の回復もあり、出勤日数が増加、また残業、休出などの時間外も増加したことで、売上高の増加、収益の向上に繋がりました。
- ・従業員募集費につきましては、20年3月期では、第3Qの累計で10億81百万円でしたが21年3月期では、3億41百万円と前年同期比で7億40百万円減少したことで販管費を押し下げております。
- ・従業員募集費は、Q毎に増加しており、第3Qではバックオーダーが増え、募集費は前年並みに戻りつつあります。

## 2021年3月期 四半期単位の単体業績



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

7

- ・日総工産単体の売上高と営業利益の四半期単位の推移グラフになります。
- ・売上高は第2Qと比較し、6.9%増加したものの前年同期と比較すると8.3%減少となっております。これは、稼働が増えているものの、先ほどご説明させて頂いたとおり在籍数が約2,000名強減していることが、売上高に影響しております。
- ・営業利益につきましては、第2Qと比較し、72.5%増加と大幅に収益が拡大しております。
- ・営業利益率も、第2Q単体で、3.7%から第3Q単体で6.0%に改善しており、事業効率が大幅に上がっております。





## 2 2021年3月期第3四半期 活動の概況

# 2021年3月期第3四半期 業績サマリー



## 連結業績

**売上高** 50,442百万円 (前年同期比  $\Delta$ 5,275百万円/ $\Delta$ 9.5%)  
**営業利益** 1,678百万円 (前年同期比  $\Delta$ 217百万円/ $\Delta$ 11.5%)

### ● 業種別売上高 (前年同期比)

自動車 …  $\Delta$ 15.5 %  
電子デバイス … +3.4%

・自動車関連では、前年同期比で15.5%減少するも、減少幅は縮小。2Qとの比較では、売上高が大幅に増加。  
・電子デバイス関連では、IT需要が底堅く推移し、売上高は堅調。

### ● 四半期末在籍者数

12,692名 (前期末比 $\Delta$ 2,078名)  
(2Q末比+168名)

・在籍数は、前期末比で2,078名減少するも、2Qとの比較では168名の増加に転じる。

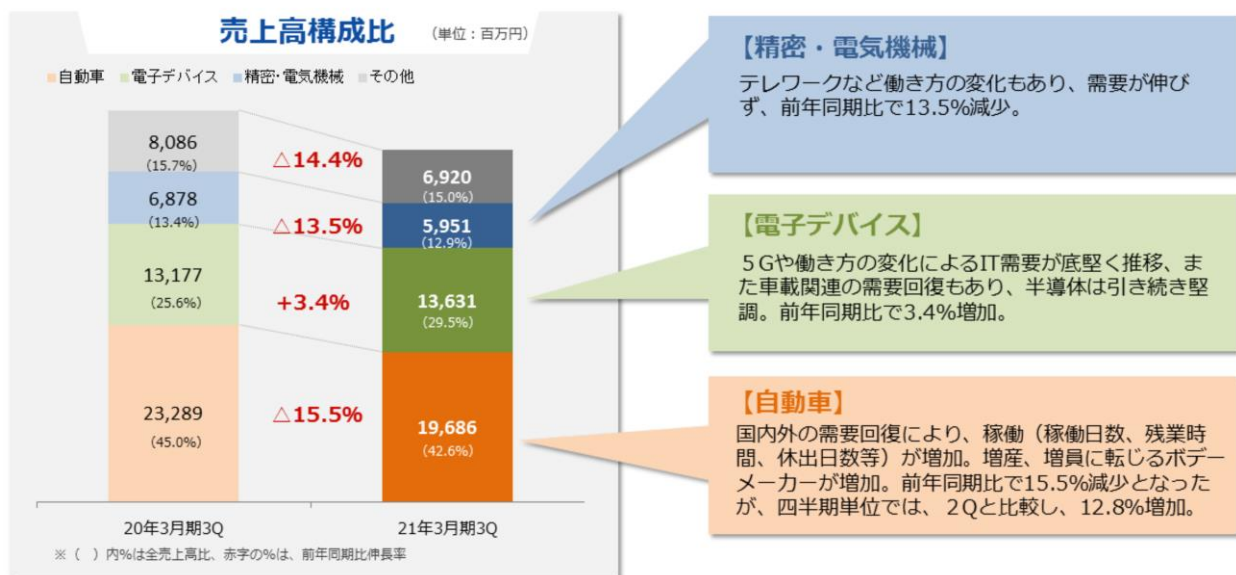
### ● 一人当たり売上高/月

389千円 (前年同期比 $\Delta$ 6千円)

・稼働(稼働日数、残業時間、休出日数等)が増加し、一人当たりの売上高は回復基調。減少額も2Q( $\Delta$ 20千円)より改善。

- ・2021年3月期第3四半期の業績サマリーになります。
- ・詳細については、次ページ以降でご説明いたします。

# 2021年3月期第3四半期 業種別売上高（単体）



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

10

- ・日総工産単体の業種別売上高についてご説明いたします。
- ・自動車では稼働が回復してきておりますが、在籍減少の影響があり、前年同期比で15.5%の減少となりました。
- ・電子デバイスでは、在庫調整が落ち着きつつあるものの、第2Q比で見ると大幅に改善はしておりません。しかしながら5G、働き方改革による在宅勤務の影響もあり半導体につきましては、引き続き伸びております。
- ・その他につきましては、住宅関係も含め回復基調にはなっておらず、前年同期比で14.4%の減少となりました。
- ・精密・電気機械につきましては、テレワークが進み、複合機を含めたオフィス需要が伸びない状況となっております。

# 2021年3月期 四半期単位業種別売上高（単体）



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

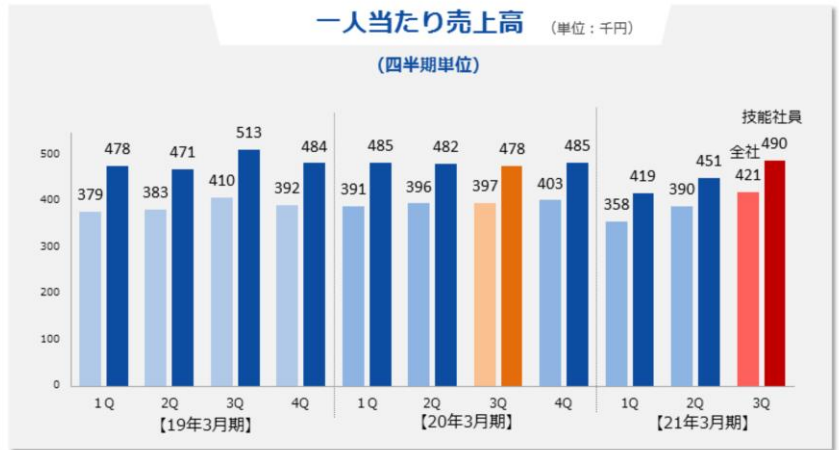
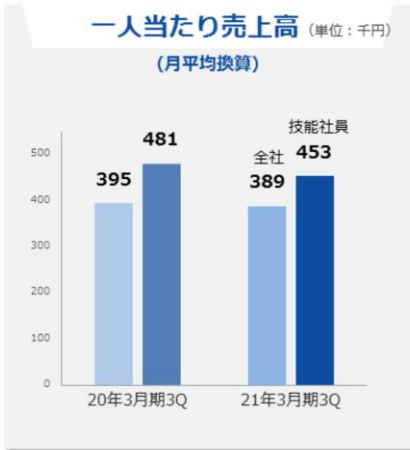
11

- ・業種別売上高の四半期単位の推移グラフになります。
- ・自動車関連では、前年同期と比較した場合、まだ100%には届いておりませんが第2Qと比較し、売上高は12.8%増加しております。
- ・ボデーメーカーであるアカウント企業を中心にバックオーダーが入り始めていることに加え、自動車部品メーカーの回復もあり、このような結果となりました。
- ・電子デバイスにつきましては、在庫の調整が落ち着きはじめており、前年同期で比較すると、売上高は101.1%と回復が見られます。今後、この分野については拡大していくと見込んでおります。
- ・精密・電気機械につきましては、前年同期と比較した場合、減少となりましたが、第2Q比では2.5%売上高が増加しており、ようやく底を打ったのではないかと見ております。

# 一人当たり売上高（単体）



- 2021年3月期3Q累計 <全社> 一人当たり売上高 389千円（前年同期比 △6千円）  
<技能社員> 一人当たり売上高 453千円（前年同期比 △28千円）
- 前年同期比で減少となったが、稼働（稼働日数、残業時間、休出日数等）が増加。四半期単位では、前年同期比で全社、技能社員ともに増加。



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

12

・一人当たり売上高についてご説明いたします。

- ・累計で見ますと、全社が389千円、技能社員が453千円となっておりどちらも前年同期比で減少となっております。ただ第3Q単体と比較しますと全社で2万4千円 6.1%の増加、技能社員では1万2千円、2.5%の増加となっております。これは、先ほどご説明させて頂きましたが時間外が増えてきていることが、大きく影響しております。
- ・第3Qの時間外を前年同期と比較しますと、月平均換算で時間外が2時間以上増加しております。受注している単価につきましても前年同期比で単純平均ではありますが、80円から100円程度上昇しており、このような状況が結果に表れております。

# 在籍人数（単体）



## 2Q末比

+168名 (+1.3%)

## ポイント①

新規入社および、退社抑制により、四半期単位で、増加に転じる。

## ポイント②

自動車関連の顧客の人材ニーズが増加。増産、増員に転じるメーカーが増加。それ以外の業種においても人材ニーズは、回復傾向。

## 期末在籍人数 (単位:名)



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

13

- ・四半期単位の期末在籍についてご説明いたします。
- ・在籍が回復していないことが大きな課題として捉えております。
- ・しかしながら、第2Q末と比較すると、168名増加しており、反転に転じ始めた状況であります。
- ・コロナの影響もあり、採用は求人倍率よりも苦勞しているというのが足元の状況であります。今後は、コロナの影響が落ち着き、採用が順調に推移することで、在籍数が力強く回復してくるのではないかという見立てをしております。

## 技能社員数（単体）

### ポイント①

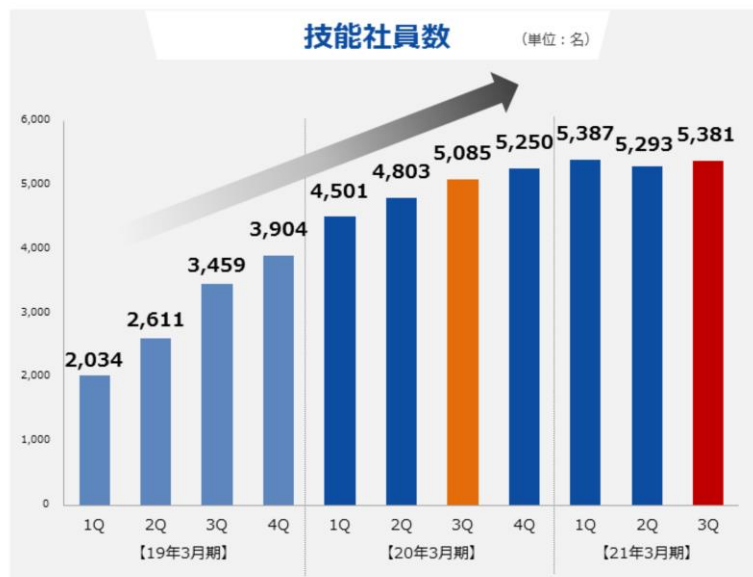
技能社員数は、アカウント企業を中心に増加に転じる。  
（2Q末比+88名）

### ポイント②

堅調である半導体関連に加え、車載関連の需要回復もあり、電子デバイスを中心に技能社員数が増加。

### ポイント③

在籍に占める技能社員の比率は、全社の在籍が増加に転じたこともあり42.4%に留まる。  
（2021年3月期2Q 42.3%）



・技能社員についてご説明いたします。

・こちらにつきましても、第2Q比で、88名増となっております。

・第2Qで初めて減少いたしました。ここにきて反転しております。自動車部品メーカーが一部増産に転じたことと、半導体関連で設備保全の分野が増加していることで増加しております。

# アカウント企業について（単体）

## ポイント①

アカウント企業グループの累計売上高は、前年同期比で△2.5%と、全社の売上高と比較し、コロナの影響は少ない。

## ポイント②

- ・自動車企業グループ及び電機企業グループの累計売上高は前年同期比で増加。
- ・3Q単体では、前年同期比で△0.2%とほぼ前年並みまで回復。

## アカウント企業グループ売上高



・アカウント企業についてご説明いたします。

- ・前年同期比では、累計の売上高は2.5%の減少となっておりますが、自動車企業グループでは、既に前年同期を上回っております。
- ・精密・電気の分野では、テレワーク等の影響もあり、大きく凹んでおり、全体で見れば減少となっております。
- ・第3Q単体の売上高で見れば前年同期比で0.2%減とかなり戻りつつあります。
- ・アカウント企業を中心にバックオーダーをかなり頂いております状況からも回復が顕著に見られます。



# 離職率（単体）



## 2021年3月期第3四半期 実績

全体の離職率

**4.4%**

(対2021年3月期2Q末  $\Delta 0.3P$ )

技能社員の離職率

**2.0%**

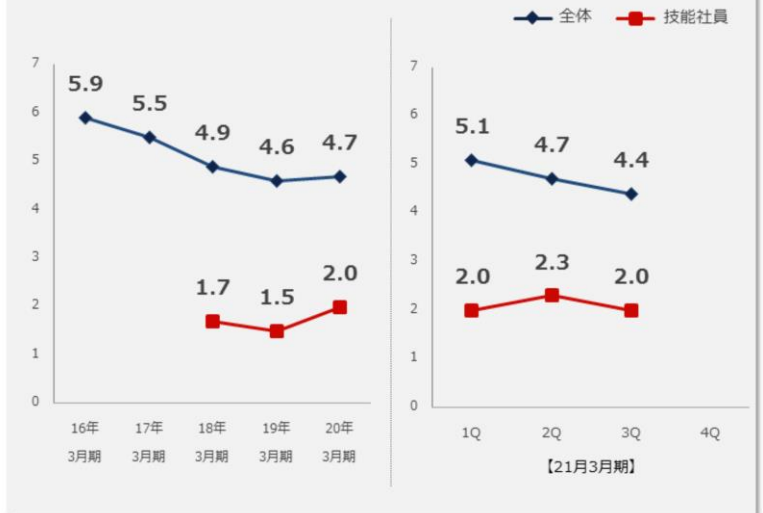
(対2021年3月期2Q末  $\Delta 0.3P$ )

## ポイント

- ・全社の離職率は4.4%と0.3ポイント改善し、2Q末より低下。
- ・技能社員の離職率は2.0%と0.3ポイント改善し、2Q末より低下。

## 離職率推移

(単位：%)



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

16

・離職率についてご説明いたします。

- ・技能社員の離職率が、第2Q単体で2.6%と自動車部品メーカーで150名程度辞められた方々の影響がありましたが、自動車を持ち直していることに加え、電子部品の分野におきましても生産が上向いてきていることもあり、離職率は落ち着いてきております。
- ・第3Q単体で見ますと、全社で3.8%の離職率と、4%を切っており離職率の低減が出来ております。技能社員につきましても第3Q単体で1.6%となっており、このことは募集で苦慮している中で、売上高、収益を上げる大きなポイントになるのではないかと考えております。

# 教育実績（単体）



## ポイント①

全体の実績数は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、受講者数の制限の継続により、前年同期比で減少。

## ポイント②

半導体製造企業からの設備保全要員の受注は堅調。

## ポイント③

Webコンテンツ充実により、社員教育の実績数が増加。前年同期比で増加。

## ● 2021年3月期第3四半期 コース別教育実績（延べ人数） （単位：名）

研修名	3Q (10月~12月)	内容	20年3月期 3Q
技能社員教育	258	技能社員スタンダード教育	589
保全基礎教育	51	設備保全基礎教育	82
認定訓練教育	36	認定職業訓練校 (宮城県・長野県)	38
製造教育	666	ものづくり教育、 製造スタッフ配属前実習、 移動教育等	1,526
安全教育	688	危険体感教育	1,258
社員教育	198	新卒研修、途中入社者研修、 中堅社員研修、 新任主任教育、 業務管理者教育	112
その他	-	外部受託教育	-
<b>合計</b>	<b>1,897</b>		<b>3,605</b>

・教育実績についてご説明いたします。

- ・コロナウイルスが拡大している中で、リアルな研修を抑えざるを得ない状況により、教育実績は減少しております。しかしながら、お客様からの設備保全のニーズは落ちることはなくオーダーを頂いております。
- ・またコロナ禍で工夫をし、集合研修をしなくてもウェブを使用し研修が出来るよう仕掛けております。このことから研修実績は減少しておりますが、アウトプットは少しずつ出せるようになってきております。

## その他の事業 事業収益



### ポイント

- 営業損失は、21百万円となり、第2四半期（△39百万円）より改善。
- 介護施設1～5号館の入居者数が減少したが、2018年開業の6号館の入居者数は順調に増加。
- 施設全体の入居者総数は、変動なし。

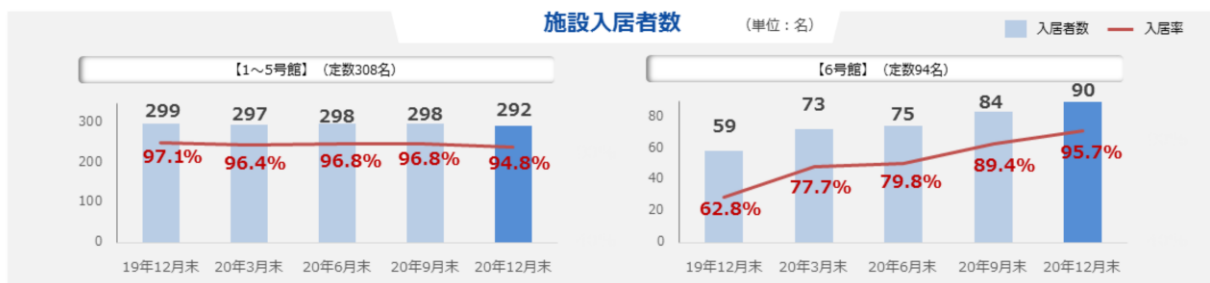
### ● その他の事業実績

(単位：百万円)

	20年3月期 第3四半期		21年3月期 第3四半期		対前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	2,068	100.0%	2,220	100.0%	152	7.4%
経費	2,084	100.8%	2,242	101.0%	158	7.6%
営業利益	△16	△0.8%	△21	△1.0%	-	-

### 施設入居者数

(単位：名)



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

18

・その他の事業についてご説明いたします。

・赤字幅は少しずつ縮小してきております。足元では6号館の定数が94名に対し、一旦満床になったことが理由として挙げられます。今後は、6号館の入居者数は90～92名程度と、体質的に完全に黒字化に転換いたしましたので、今後はこのセグメントにつきましても収益をしっかりとらせる状態であります。

### **3** 今後の見通し (2021年3月期)

## 2021年3月期 通期連結業績予想の修正



当社は最近の業績動向を踏まえ、2021年3月期（2020年4月1日～2021年3月31日）の通期連結業績予想を修正いたしました。（2021年1月19日公表）

### ■ 2021年3月期通期連結業績予想数値（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想 (2020年11月6日発表)		今回修正予想		前回発表予想比		20年3月期 実績	
	予想	百分比	予想	百分比	増減額	増減率	実績	百分比
売上高	67,000	100.0%	68,000	100.0%	1,000	1.5%	74,966	100.0%
営業利益	1,800	2.7%	2,400	3.5%	600	33.3%	3,061	4.1%
経常利益	2,100	3.1%	2,750	4.0%	650	31.0%	3,149	4.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,300	1.9%	1,700	2.5%	400	30.8%	2,033	2.7%

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

20

・通期連結業績予想についてご説明いたします。

・売上高につきましては、670億円から680億円、営業利益につきましては、18億円から24億円に修正しております。コロナの影響を若干受け、また海外でのロックダウン等で回復にブレーキがかかることがあるという前提で予想をしておりましたが、自動車、半導体を中心としたデバイスが強含みで推移していることもあり、修正させて頂きました。しかしながら、新たな成長戦略のための人材確保や、教育への投資、M&A、DX化に向けたシステム投資などを緩めることは想定しておりません。その前提で24億円という利益は十分見込めると考えおります。

## 4 トピックス

---

# 株式会社クロスリンクとの資本業務提携について

当社は、2021年1月19日の取締役会において、株式会社クロスリンクとの間で資本業務提携を行うことを決議いたしました。

## 業務提携の目的

製造系人材会社8社が共同出資する株式会社クロスリンクが提供するWeb人材派遣一括管理システム「HRクロス」は、派遣先企業がネット上で各派遣会社とコミュニケーションが図れるとともに、人材紹介、契約、派遣スタッフの管理・評価、顧客企業への請求までの全プロセス一元管理を実現します。

今後はこのシステムをオープン化し、各製造派遣会社への導入を促すとともに、派遣会社と各顧客企業との窓口一本化を目指し、製造系人材派遣業界での電子取引におけるデファクトスタンダードを目指します。

## 【会社概要】

(1) 名称	株式会社クロスリンク
(2) 所在地	神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番15号新横浜センタービル2階
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 江本 亮
(4) 事業内容	・自社求人サイト構築支援・Webマーケティング支援 ・キャリアアップ教育訓練e-ラーニングサービス「クロスラーニング」の運営 ・キャリアアップ教育訓練支援コンサルティング
(5) 資本金	105百万円（資本準備金含む）
(6) 設立年月日	2013年4月8日

※詳細につきましては、2021年1月21日に公表いたしました「株式会社クロスリンクとの資本業務提携に関するお知らせ」をご覧ください。

Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

22

- ・株式会社クロスリンクとの資本業務提携についてご説明いたします。
- ・人材派遣各社は、タイムカードなど勤怠管理については、各社独自のフォーマットで対応しており、人材派遣を大量に利用している企業では、事務処理が膨大となり、人員や契約の管理も煩雑となっておりました。また同一労働同一賃金への対応した人材評価システムの構築などもあり、標準化されたシステム開発が期待されておりました。
- ・そこで当社及び同業7社が共同出資する株式会社クロスリンクが提供する派遣受発注をオンラインで一元管理できるシステム（HRクロス）をオープン化し、各製造メーカー及び製造派遣会社への導入を促すとともに、製造系人材派遣業界での電子取引におけるデファクトスタンダードを目指してまいります。

# 創業50周年を迎えて



当社は2021（令和3）年2月3日、創業50周年の記念すべき節目を迎えることができました。これもひとえに、皆様方のご支援、ご厚情の賜物であり、心より感謝申し上げます。

## 明日の総てのために

お客さま、働く方々と未来へ歩んでいくためには、持続可能な機能体であることが必須です。働く環境には徹底した安全衛生管理を実施し、ディーセント・ワークを実現することが使命となります。

どのような時代になっても、私どもは創業理念である「人を育て 人を活かす」の原点に立ち返ることを忘れません。単に教育すべしということではなく、人間は仕事を通じて才能と能力を自覚し、動機と価値観が必ず成果に結びついて、その結果が社会へ還元できることが重要であると考えます。

この図式を働く方々全員へ導き方向づけることが人材サービスの本質であり、当社の存在意義であると確信しております。

今後とも、皆さまよりご支援、ご指導を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

日総工産株式会社  
代表取締役会長兼社長 清水竜一



NISSO CORPORATION  
50th ANNIVERSARY

・2021年2月3日に当社は、創業50周年を迎えております。本来はイベント等を行うところではありますが、コロナ禍でもありますので、株主の皆さま、お客さま、働いている方々への感謝の気持ちを、接触しない形で伝えていきたいと考えております。





## 5 株主還元方針

# 株主還元方針

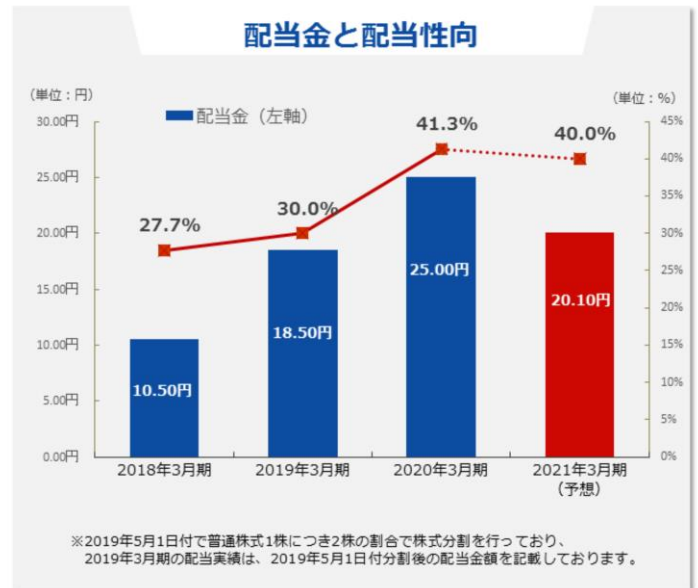


## 基本方針

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

## 2021年3月期の配当予想

- 業績予想の上方修正に伴い、一株当たり配当予想額（前回予想11.53円）を15.10円に修正。
- 加えて、創業50年記念配当5.00円を実施。
- これにより、普通配当15.10円に記念配当5.00円を加え、期末配当予想は20.10円となります。



Copyright © 2021 NISSO CORPORATION All Rights Reserved

25

・株主還元方針についてご説明いたします。

・期末の業績予想の修正を加えたこともあり、配当性向30%を目安に普通配当を15.10円、そこに50周年記念配当として5.00円を加えた20.10円の配当を予想しております。

## 6 補足資料

# 連結貸借対照表



(単位：百万円,%)

	20年3月末		20年12月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
<b>流動資産</b>	<b>15,622</b>	<b>69.5</b>	<b>14,284</b>	<b>67.0</b>	<b>△1,338</b>
現金及び預金	6,365	28.3	6,352	29.8	△12
受取手形及び売掛金	8,434	37.5	7,094	33.3	△1,339
<b>固定資産</b>	<b>6,871</b>	<b>30.5</b>	<b>7,034</b>	<b>33.0</b>	<b>162</b>
有形固定資産	4,754	21.1	4,718	22.1	△36
無形固定資産	377	1.7	358	1.7	△18
投資その他の資産	1,739	7.7	1,956	9.2	217
<b>資産合計</b>	<b>22,494</b>	<b>100</b>	<b>21,318</b>	<b>100</b>	<b>△1,175</b>
<b>流動負債</b>	<b>9,279</b>	<b>41.3</b>	<b>7,651</b>	<b>35.9</b>	<b>△1,627</b>
未払費用	4,648	20.7	4,444	20.9	△203
未払法人税等	812	3.6	84	0.4	△727
賞与引当金	879	3.9	486	2.3	△392
<b>固定負債</b>	<b>1,319</b>	<b>5.9</b>	<b>1,314</b>	<b>6.2</b>	<b>△4</b>
長期借入金	623	2.8	520	2.4	△103
<b>負債合計</b>	<b>10,598</b>	<b>47.1</b>	<b>8,965</b>	<b>42.1</b>	<b>△1,632</b>
<b>株主資本</b>	<b>11,974</b>	<b>53.2</b>	<b>12,429</b>	<b>58.3</b>	<b>455</b>
<b>純資産合計</b>	<b>11,895</b>	<b>52.9</b>	<b>12,352</b>	<b>57.9</b>	<b>456</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>22,494</b>	<b>100</b>	<b>21,318</b>	<b>100</b>	<b>△1,175</b>

## Point

### ①稼働縮小による減少

製造系人材サービスの稼働縮小により、流動資産の「受取手形及び売掛金」他及び流動負債の「未払費用」他が減少しました。

### ②出資

業務提携に伴う株式出資により、固定資産の「投資その他の資産」が増加しました。

### ③納税

法人税等他の納税により、流動負債の「未払法人税等」他が減少しました。

### ④賞与支給

賞与支給により、流動負債の「賞与引当金」が減少しました。

### ⑤全体

上記の結果、前期末比で資産合計が5.2%減少、負債合計が15.4%減少、純資産合計が3.8%増加となり、自己資本比率は5.1%増の57.9%となりました。



人を育て 人を活かす

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

日総工産株式会社 経営企画本部 広報・IR部

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso.co.jp

URL <https://www.nisso.co.jp/>